



7月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/youchien/minamisenju2/>



身体をとおして身に付ける

園長 立石 晃子

緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行し、感染拡大防止対策を講じた上で遠足に出掛けることができるようになりました。汐入公園や瑞光橋公園での親子遠足では、親子で手をつなぎ触れ合いながら、学級のみんで楽しい時間を共有することができました。ご協力ありがとうございました。

6月24日(木) 年中児と年長児はとうきょうスカイツリーに出掛けました。子供たちは大きな窓から、「あ、うちのマンションあった!」「青い橋のところ汐入公園だよ。」と自分たちの住む南千住を見付けていました。ガラスの床の場所でのこと。子供たちは怖がるのではないかと予想していましたが、そんなことはなく、年長児は進んでガラスの床に足を踏み入れました。始めは立ったまま足元を見ていましたが、遙か眼下で動いているものをもっとよく見たいと思ったのでしょうか、ほとんどの幼児が床に四つ這いになってガラスの床に張り付き、「あ、人、小っちゃい!」「車が通った!」と発見を楽しんでいました。

次の日、年中組を覗くと、ソラカラちゃん人形を椅子に座らせ自分たちの様子を見せながら、積み木を使ってスカイツリーづくりをしていました。細長く薄い積み木を交互に井桁に組みながら高く積んでいました。ある幼児が、友達と一緒につくっていたところ、もっと強度を高めたいと考えたのでしょうか、井桁を組む枚数を増やして積み始めました。すると、一緒につくっていた子もそのアイデアを取り入れ真似をして、補強しながら積み始めました。傍で一人でつくっていた幼児も真似をして補強し...とアイデアは伝播し、崩れては積み直しを繰り返しながら、より高いスカイツリーを目指して取り組んでいました。

東京大学名誉教授 汐見稔幸先生は著書の中で、今の幼児が社会に出ていく2040年代はAIが日常の生活に入り込み、人間が苦勞してすることはどんどん機械、ロボット、システムが肩代わりしていくことが自明視されている、その中で、身体で覚える、身体に文化としての技を刻み込んでいく、感性の豊かな身体を手に入れる等々といった人類がこだわってやってきたことを身に付けるチャンスが減ってしまうと、人間は生きる喜びや目標が分からなくなる可能性がある、そこでAI社会を生きる世代には、身体を使うこと、身体で覚えていくこと、自分で考えること、工夫すること、討論すること、人と関わって何かすること、といった人間的資質を幼い頃からしっかりと育てていくことが大切になる、と述べています。心が動くと身体も動きます。教職員は心を動かす体験の場をしっかりとつくり、AI社会を生きる子供たちの身体づくり、身体をとおして身に付ける環境づくりに取り組んでいきます。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

今日はお水で遊ぶ？冷たくて大好き！

6 月中旬の梅雨入り後も、気持ちの良いお天気が続き、戸外で体を動かして元気に遊ぶ楽しい日々を過ごしています。特に泥水遊びや植物への水遣りなど、冷たく開放感を味わう遊びに子供たちは夢中です。登園時にまず「今日お水ある？」と教師に尋ねたり、「早くお外に行く時間にならないかな」と時計を見ながら待ち遠しそうにしたりする姿があります。砂場で水に土を入れた際に気泡ができることを発見して「シュワシュワしているね」と教えてくれる子やタプタプした泥を作って手で叩き続ける子、水遣りのお水をタライから汲む際に「ブクブク～」と言いながら繰り返して楽しむ子などそれぞれの水での遊び方を楽しんでいます。晴天に恵まれたプール開きでは、頭から水を被ることを怖がることなく喜ぶ様子が見られ、楽しそうな笑い声が聞こえました。

7 月は、七夕や夕涼み会など夏の行事が盛りだくさんです。夏ならではの幼稚園での遊びや過ごし方を知り、教師や友達と一緒に楽しめるように過ごしていきます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

暑い日も戸外で元気いっぱいです！

梅雨の時期ではありますが、天気の良い日には「今から外に行けるの？やったー！」と喜び、戸外遊びを楽しみにしています。砂場では新しい道具が仲間入りして、雨どいとビールケースを使って遊んでいます。水が流れるように雨どいを重ねて置いていきますが、重ね方によっては水が漏れてしまいます。「どうしてこうなるんだろう？」「こうやったらどうなるかな？」などと、自分たちなりに考え、試行錯誤しながら遊びを進めています。また、年長児が作っているコースをよく見ながら真似て作っている姿も見られています。まだまだ暑い日は続きますので、来月も引き続き水分補給をしっかりと行いながら戸外遊びを楽しんでいきます。

一学期の終業式まであと少しではありますが、七夕や夕涼み会といった行事もあります。季節の行事に興味をもち、参加を楽しみにすることができるようしていきます。

< 5 歳ばら組 >

みんなに伝わる、みんなと繋がる毎日。関わりが深まってきたばら組さん。

みんなで5月に植えた野菜の苗が暑い日差しを受けながらすくすくと生長しています。茄子は収穫の時期を迎え、みんなで食しました。子供たちは次に何が収穫できるだろうかと予想し、収穫することを今日か明日かと心待ちにしながらその生長や変化に興味をもって関わり、発見したことや気付いたことを学級の時間に毎日共有しています。また、戸外では、みんなで誘い合ってドロケイをしたり、泥遊びや水遊びをして思いきり体を動かしたり友達と考えを出し合ったり相談しながら遊びを進めたりしています。時には友達と思いがすれ違ってしまってもありますが、自分の思いを伝えるだけでなく友達の思いを聞こうとしたり、じっと耳を傾けたり、一緒に考えたりする姿も出てきました。

1 学期もあとわずかです。夏ならではの行事や遊びを楽しみながら、学級のみんなで一緒に活動に取り組む充実感をたくさん味わえるよう援助していきます。